

【JPrOS 通信 No.332】 2019.08.23 HUPO 理事選挙投票のお願い

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 332 号 ★★★

2019.08.23

---

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局（info@jhupo.org）にお願いいたします。

---

■■■ HUPO 理事選挙投票のお願い ■■■

日本プロテオーム学会員の皆様

平素は日本プロテオーム学会にご参加・ご協力いただきありがとうございます。

HUPO 理事の投票が 8 月 21 日から始まりましたのでお知らせいたします

（<https://hupo.org/2019-HUPO-Council-Elections>）。

2020 年から 3 年間の HUPO 理事候補者として、国立がん研究センターの近藤格先生が日本プロテオーム学会理事会で承認されました。日本プロテオーム学会として HUPO 理事に選出されるよう支援していきたいと思っております。

下記の URL から投票をお願いいたします。

<https://HUPOelection.simplyvoting.com/>

投票に必要な Elector ID と Password は、HUPO から個別に電子メールで連絡が来ていると思います。

9 月 15 日が締切になりますので、宜しくをお願いいたします。

日本プロテオーム学会が国際的にプロテオーム研究に貢献するためにも、日本から少しでも多くの HUPO 理事を送り出したいと思っております。そのためには、1 人でも多くの方に HUPO 会員になっていただき、お二人に是非投票をお願いしたいと思います。下記の URL から HUPO 会員登録ができますので、是非ご協力ください。

<https://www.hupo.org/members/membership-application/>

以下、近藤先生から所信表明のご挨拶を頂きましたので、回覧させていただきます。

日本プロテオーム学会会長

石濱 泰

---

所信表明

日本プロテオーム学会の会員の皆様へ

このたび理事会に推薦され Human Proteome Organization (HUPO)の理事に立候補しました近藤格です。立候補にあたって所信を述べさせていただきます。

私は 1992 年よりプロテオーム解析を始め、2001 年からは今の職場である国立がん研究センターで、臨床検体を用いたバイオマーカーの開発を行っています。HUPO 年会には 2002 年の第 1 回目から参加しています。理事に選出された暁には、今までの経験を踏まえ、下記の 2 点について会員の皆様のお役に立ちたいと思います。

まず、HUPO では創立以来、国際的な研究プロジェクト(HUPO Initiative)がいくつも企画されており、HUPO Glycoproteomics Initiative など日本人研究者が中心的に活動してきたものもあります。私自身は、2017 年より International Cancer Proteogenomics Consortium (ICPC)に日本を代表して肉腫研究の立場から参加しています。しかしながら、全般的には日本からの参加者は少ない感が否めません。HUPO の活動を会員の方々にわかりやすく御紹介し、参加しやすくすることで、皆様の研究のお役に立ちたいと思います。次に、HUPO では臨床検体を活用した研究、たとえばバイオマーカーの開発が盛んに発表されています。日本では臨床検体を活用する研究は主に組織単位で行われており、臨床検体の活用は一部の研究者に限定されています。会員の皆様の斬新な技術をもって臨床検体を解析すれば、新しい医療シーズを見つける機会は多いと思われれます。HUPO のような国際的な舞台で日本人研究者が活躍しやすくなるように、組織の枠を越えて病院と個々の研究者をつなぐ仕組みを本学会において作りたくと思います。

皆様の御支持を賜りますよう、どうぞよろしく申し上げます。

#### 附記

蛇足ながら語学については、英検1級・TOEIC 950 点と、業務上のコミュニケーションにはそれほど不自由していません。

令和元年8月21日

近藤格

希少がん研究分野

国立がん研究センター

連絡先: takondo@ncc.go.jp

---